



長野県議会議員 上伊那選挙区選出 1期目

Vol.9

Contents

- あいさつ
- 新型コロナウイルスについて
- 6月定例会一般質問について
- 議場説明について
- その他の活動について
- 次回定例会の日程 (予定)
- あとがき

清水まさやす 県議会だより

ブログ [まさやす日記](#)

[検索](#)



facebook.com/masayasu.shimizu



facebook

(日頃の活動はブログをご覧ください) s.m@eagle.ocn.ne.jp

ご挨拶

日頃から清水まさやすの活動に対し、ご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの接種が高齢者中心に進み、新規感染者数に占める高齢者の割合が昨年秋以降で最も低い水準となり、新規感染者数の増加に比べ、重症者数の増加が抑えられている傾向もみられます(7/21 厚生労働省：最新情報はHPなどをご覧ください)。

現在国内で接種されているワクチンは、**発症予防**と**重症化予防**に効果があるとされています。また、これまで**感染予防**については、発症しない感染者が多数存在する新型コロナウイルス感染症では実証が難しいとしていました。が7月21日「ワクチンを2回接種した高齢者は、接種していない高齢者と比べると感染者数は10分の1以下」と厚生労働大臣が発表しました。**感染予防**も期待をしたいところですが、引き続き分析が必要とのこと。特に、**ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防**

できるかはまだ分かっていません。変異株についての懸念もありますし、ワクチンを接種しても全体としてコロナが終息するまでは、マスクや手洗い、消毒など新しい生活様式を徹底しましょう。

また、ワクチンは希望者の接種ですので、接種の有無(病気などで接種が出来ない人、接種をしたくない人)に対して差別や偏見が起きないように配慮が必要です。

ワクチン接種については様々な情報(医師や専門家によっても見解が異なる場合)がありますが、公の情報(厚生労働省や県などの情報)で判断して頂ければと思います。

コロナ終息へのシナリオは始まったばかりであり、まだまだ感染拡大の可能性はあります。引き続き一人ひとりが「かからない、うつさない」、そして「ひろげない」という意識を持ち、自分を、家族を、周りの人を守っていきましょう！

飲食業や宿泊業などは特に苦境に立たされてい

ますが、県の「信州の安心なお店」などに登録するなどそれぞれコロナ対策に努力しています。そういった対策を見極め、利用する私たちも十分に気を付けながら利用し、関連事業者の支援をしていきましょう。



今号は、上記Contents(目次)の内容をお知らせします。原稿完成から発行までに日数がかかります(最終原稿7月28日)ので機を逸した内容もあるかもしれませんがご容赦ください(6月定例会の全体的な内容は8月2日(日)の朝刊に折り込まれた「長野県議会広報第151号こんにちには県議会です」をご覧ください)。また、最新情報は県のホームページなどでご確認頂きますようお願い申し上げます！

引き続き温かいご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



● 新型コロナウイルスについて

感染対策強化期間

阿部知事は、

- ・ 東京を中心とした大都市での感染拡大
- ・ 増加傾向のデルタ株
- ・ 県内でも感染経路が県外と推定される事例が多い
- ・ 昨年の第2波となった夏休み期間

といった懸念から、7月20日に

「この夏を過ごすにあたってのお願い」

を出しました。7月22日から8月22日までを感染対策強化期間としています。

この期間中は右の内容にご協力ください！

ウイルス(デルタ株等)を県内に持ち込まないために

- 感染拡大地域等への訪問はできるだけ控えて
- 県外へ訪問される場合は、感染リスクの高い行動を控えて

県内で感染を広げないために

- 基本的な感染防止対策の徹底を
- 体調に異変を感じた場合は、外出せず医療機関にご相談を
- 普段会わない方との会食は控えて(同居の家族以外で行う飲食を伴う5人以上の会食は、感染対策の徹底を！)

安心で安全な長野県を取り戻すために

- ワクチンの効果と副反応を知った上で、ワクチン接種をご検討ください
- 接種がお済みの方を含め、引き続き感染対策の徹底をお願いします！

「思いやり」と「支え合い」で新型コロナを乗り越えましょう

- 県外への訪問が必要な方やワクチン接種を受けることが出来ない方もいます
- 差別や誹謗中傷は行わず、「思いやり」の心を持ち「支え合い」の輪を広げましょう

○ ワクチン接種について 国の指示に従い市町村において優先順位をつけ、接種をしています。

ワクチン供給については課題もありますが、県としては、「接種を希望する県民が安心して安全に、落ち着いた環境の中で滞りなく接種を受けられる」「地域間で接種の進行を競い合うことなく、かつ、大きな遅れが固定化する地域が生じない」を基本的な考え方とし、実施主体の市町村と、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会、県がオール信州で対応しています。また、市町村の実情に応じた県のハイブリッド支援(市町村への人材派遣等)などを行っています。

県は、ワクチンの供給が想定通りならば、11月22日の週には78%の接種完了が見込めることから、今後のスケジュールを

- ・ 希望する高齢者への接種の7月末完了
- ・ 希望する基礎疾患を有する者への接種をできるだけ8月中旬
- ・ 県内の2回目接種率を9月末までに60%に
- ・ 希望するすべての県民への接種の11月末完了

とし、

- ・ 供給されたワクチンを無駄なく使用する
- ・ 個々の市町村の充足率を県が把握し、仕上げ期として地域振興局により圏域内で調整する。
- ・ 若年層への啓発ワクチン接種の有効性等を周知することで接種率の向上を図る

としています。接種については様々な考え方があります。左下の通り、これまでは若年層は重症化リスクが小さいといったデータもあり、基礎疾患がない場合は、更に重症化リスクが小さいと考える事も出来ます。しかしデルタ株などの変異株は異なる特徴を持つとも言われるなど、まだまだ不確かな部分もあるのが事実です。

ワクチン接種については強制ではありませんので、ご自身で(または保護者が)、リスク(副反応など)とベネフィット(効果・利得など)を見極め、判断して頂きたいと思えます。

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率 (厚生労働省 新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識(2021年7月版)より)

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例(無症状を含む)のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち重症化しやすいのは、**高齢者と基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方**。重症化リスクとなる**基礎疾患**等には、**慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満(BMI30以上)、喫煙**がある。(厚生労働省HPより)

○ お困りごとがありましたら、下記をご利用ください。

新型コロナウイルス感染症対策 **総合サイト**

県の情報は [こちら](#)



相談窓口一覧

[困ったときの相談先一覧] 症状の相談、差別や不安、企業や農業などの相談先など



お困りごと相談センターは、「どこに相談したら良いかわからない!?!」という方の疑問にお答えするセンターです。026-235-7077へお電話ください。

「よくあるご質問」は [こちら](#)をご覧ください!



● 6月定例会の一般質問 (6/23、一般質問2日目の午後)

1. 新型コロナウイルス感染症について



【質問①】県では、自宅や宿泊施設での療養者に対して、保健所や看護師による健康観察又は遠隔健康観察システムによる症状の把握を行っているが、症状が悪化し、中等症化や重症化した方は？

【回答 福田健康福祉部長】 本年6月8日までに届け出のあった新型コロナウイルス感染症陽性者4,901例のうち、自宅療養された方が958名、宿泊療養をされた方は1,695名。自宅療養された方でその後中等症となった方は14名で1.5%、重症となった方は1名で0.1%。宿泊療養をされた方でその後中等症となった方は41名で2.4%、重症となった方は1名で0.06%となっている。宿泊施設や自宅で療養している方々については、**症状が悪化しないよう、看護師や保健師により継続的に健康観察を行っている。**

6月、厚生労働省と日本呼吸器学会の実態調査より、中等症以上の患者では、三か月後も54%の人の肺に何らかの異常が残るとの報告あり。
感染拡大を防ぐとともに、本人のため、医療機関へ負担をかけないためにも、**症状を重くしないことが重要**との視点より質問

【質問②】ワクチン接種後についてはどのような行動が必要か？

【回答 増田健康福祉部長】 両ワクチンとも現時点では**感染予防効果は明らかになっていないので、感染が収束するまでの間はワクチン接種を受けたかどうかに関わらず、マスクの着用、3密回避、手洗いや消毒の励行など、適切な感染防止策を行う必要がある。**

2. 公共配布カードなどの活用について

【質問】アフターコロナの観光戦略の一つとして、インフラカードのみならず景勝地カードなど各市町村や観光協会が作成する様々なカードに、県で種類別に通し番号を割り振るなどして一元的に管理し、観光地の掘り起こしや人々のコレクター心をくすぐる取組を行ってはどうか。



【回答 渡辺観光部長】 全国的に発行されているインフラカードについては、昨年、県公式観光サイト「Go NAGANO」において、「ダムや周辺観光地を訪れてダムカードを集めよう」というトリップアイデアを掲載しPRした。今後も、様々なインフラ分野に順次拡充し、建造物の背景や歴史など、知的好奇心を高め、学びの要素を加え新しい観光資源として、PRしたいと考えている。また、地域独自に発行しているカードについては、周辺観光地の食文化や体験といった地域の魅力を複合的に発信することが重要。市町村と連携して、WEBサイト等の活用などにより、観光地の魅力を発信していく。

3. 県産材の利用について

【質問①】住宅関連事業者が県産材を選ばない、利用しない理由をどう捉えているか？

【回答 井出林務部長】 令和元年度に県が行った住宅関連事業者に対する調査によると、**県産材**を利用しない理由として、**外材**の方が低価格であること、**外材**の方が求めている製品を適宜・適量にワンストップで購入できること、あえて**県産材**を使おうとする施主が少ないこと、などの傾向が見られた。県としては、**外材**と比較しても、消費者の皆さんに**県産材**を選択していただけるよう、これらの課題に対応していくことが必要と考えている。

【質問②】現在、木材価格の上昇があり、**県産材**にとってはチャンスと考えるが、一時の増産ではなく、継続した利用、確かな需要が期待できなければ、製材事業者なども増産や新しい機械への投資はできない。今回の**外材**の影響に関係なく、**県産材**が利用される環境を作るべきであり、エコなど他の条件とは別に、**県産材**の利用促進だけの支援事業を考えるべきではないか？

【回答 井出林務部長】 県では、環境面・経済面で持続可能な脱炭素社会を構築するため、高い省エネルギー性能を有した**県産材**住宅への支援を実施しており、今後も林務、建設両部が連携の上、積極的に推進する。また、消費者の皆さんに**県産材**の良さを知っていただくため、多くの県民の皆さまが利用する商店や銀行などの商業スペースや、コミュニティセンターなどの公共スペースの木質化を支援している。現在、**外材**の価格が高騰する中、今まで**県産材**を利用してこなかった住宅関連事業者などに対しては、**県産材**の新たな需要先と捉え、**県産材**に関する情報の発信や供給側の窓口の紹介などの取組を行っていく。

4. ウェルビーイングについて

【質問】政府は各種の基本計画等について、**ウェルビーイング**に関するKPIを設定するとしている。幸福を感じる人が多くなるように、**ウェルビーイング**を県の各種計画に取り入れたらどうか？

【回答 阿部知事】 **ウェルビーイング**は、一般的には身体的、精神的、社会的に良好な状態が持続することを意味する概念とされており、「幸福」と翻訳されることが多い言葉でもある。経済的な豊かさだけでなく、**社会の豊かさ、人々の生活の質、満足度、こうしたことに注目していくことはこれから大切な視点だと考えている。**今後県の様々な計画における目標設定の際には、こうしたことを十分意識して取り組んでいきたいと考えている。



● 議場説明について

去年は新型コロナの影響で全てキャンセルとなっていた小学生の社会見学(県庁見学)が今年も行われています。広報委員として子どもたち

ちに説明をしています。ちょっと緊張しますが、楽しいです！子どもたちの勉強のお手伝いと、少しでも政治に関心を持って貰えれば、、、と思っています！(上伊那では、これまで南箕輪

村や辰野町の小学校の一部で説明させて頂きました)



● その他の活動について (抜粋)

●5/17 全国の地方議員の仲間と立ち上げた地方制度研究会設立総会にて事例発表

●5/20など 高校改革・再編整備計画の住民説明会に何度か出席。参加者の声に触れました。

●5/26 会派で知事要望。全国的に第4波を迎えた新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、ワクチン接種の市町村への支援体制を含めて要望。

●6/7など 上伊那の町村議会を傍聴しました。それぞれの議員さんが感じるそれぞれの町村の課題を調査。

●6/10 青少年問題協議会。子供たちの勇気を持った相談

が、解決につながらなければいけません。

●7/6 移動知事室が上伊那でありオブザーバー出席。知事の「具体策を」との発言が印象的でした。

●7/10 1年越しに開催された中央アルプスの国定化記念の「中央アルプスフォーラム」に来賓出席。まだまだコロナの影響は大きいですが、2万年前の氷河地形など魅力を発信していきます。



●7/13 県議会環境文教委員会で諏訪青陵高校、セイコーエプソン(株)さん、県総合教育センターを現地調査。中高一貫の切磋琢磨、環

境の取組みで世界トップレベルの企業、将来を見据えている活動を調査。

●7/16 県議会危機管理建設委員会の上伊那管内の現地調査に地元県議として参加。

●7/20 県議会産業観光企業委員会の上伊那管内の現地調査に地元県議として参加。女性が活躍する社風があるサン工業(株)さんの話は、他の事業者さんにも伝えたいと感じました。

…その他にも総会出席や要望活動の同行、町村長との意見交換、調査活動など積極的に行いました。

あとなぎ

ワクチン接種が進んでいますが、コロナ終息まで、皆で予防を続け、思いやりの心を持って、支え合いの輪を広げ、乗り越えましょう！

● 次回定例会の日程 (予定)

- 9月21日/会派、事前勉強会 ●9月22日/本会議、開会 ●9月28～10月1日/一般質問
- 10月4～6日/委員会(総務企画警察委員会は7日も) ●10月8日/閉会